



そろばんがくれた 未来へのきっかけ

税理士法人ウィレイズ 公認会計士・税理士 濱田 順平

私は5歳のときに、家の近くのそろばん塾に通い始め、そろばんと出会いました。最初は習い事のひとつとして始めたものの、気が付けば夢中になっており、平日は学校から直接そろばん教室に向かう日もあるほど熱中していました。

小学校低学年の頃から、そろばんは生活の中心にありました。毎日3～5時間練習することも珍しくなく、週末には一日中そろばんに向き合う日もありました。そのような日々の積み重ねが、技術の向上や集中力、粘り強さを育んでくれたと感じています。計算の速さだけではなく、精神面の成長にもつながる学びだったと、今になって強く実感しています。

やがて全国大会にも挑戦するようになり、同世代の選手たちと切磋琢磨するなかで、さらなる高みを目指すようになりました。小学6年生のときには全国大会で2位という結果を残すことができたものの、優勝を目指していたなかでの悔しさは大きく、その経験が次なる成長への原動力になったきっかけでもありました。失敗や挫折をどう乗り越えるかということも、そろばんを通じて学んだことのひとつです。

中学時代には、日本珠算連盟主催の暗算検定十段を取得することができました。高校では茨城県にある水戸商業高校へ進学し、珠算部に所属して日々練習を続けました。進路を考えるなかで、これまでのそろばんの経験を活かし、数字に関わる仕事がしたいと思うようになり、自分の強みを活かせる分野として、自然と会計という世界に興味を湧いていきました。

そして明治大学入学後、公認会計士を目指すことを決意しました。当時は1日10時間以上の勉強を毎日継続することは大変だと感じさせられましたが、それでも諦めずに続けることができました。そして、大学3年時に一発で合格することができたのは、そろばんを通じて身につけた計算力や集中力、記憶力が、試験勉強において大きなアドバンテージになったものと実感しています。

合格後は大手監査法人に就職し、実務経験を積みました。その後、25歳で独立し、公認会計士・税理士として法人を設立しました。今では15名の社員とともに、中小企業の経営や税務の支援を通じて、経営者の皆さまに寄り添いながら日々仕事に取り組んでいます。若い世代の挑戦を後押しできる存在として、今後も現場に立ち続けていきたいと考えています。

自分のやりたいことに全力で取り組める今の人生は、そろばんとの出会いがあったからこそのものであり当時の選択は間違っていないものと確信しています。

私自身、そろばんを通じて得たものは大きく、その努力は決して無駄ではなく、将来の夢や目標に近づくための確かな一歩になりました。これからそろばんを始める方や、今も練習を続けている方へもこの体験をもとにそろばんへの興味が増えていくことを期待します。そしていつか、そろばんで培った力を活かしながら、同じ志を持つ方々と一緒に仕事ができる日がくることを、密かに楽しみにしています。

